

平成 28 年 5 月 12 日

研究公開用文書

研究名： プロテオーム解析による骨粗鬆症に関わるタンパク質の網羅的探索
研究の概要： 骨粗鬆症は骨折の原因となり、健康寿命を阻害する大きな原因となる。高齢化の加速に伴って骨粗鬆症が増加し、現在 1280 万人の患者が存在する。既に骨粗鬆症と診断された患者のみならず、医療機関を受診しない潜在的な骨粗鬆症患者に対して、簡便なスクリーニング法の確立や的確な治療介入が重要な課題である。本研究では骨粗鬆症に関わるタンパク質を網羅的に探索し、原因の究明、診断技術開発、治療効果判定に寄与することを目的とする。骨粗鬆症および骨量減少の患者を対象に、血液検体を採取し、プロテオーム解析にて発現タンパク質を網羅的に解析する。被験者には通常の保険診療内で骨粗鬆症治療が行われるが、治療に対する反応や骨粗鬆症の重症度に応じて群わけを行い、発現タンパク質との関連をサブ解析する。解析の評価は、比較対照群としてバイオバンク血清を用いて行う。評価は、プロテオーム解析によるタンパク発現を主要評価項目とし、副次評価項目としては骨密度検査、骨代謝マーカを含む血液生化学検査、X 線検査を実施する。
研究対象： 20 歳以上の男女で骨量減少症または骨粗鬆症の患者
研究責任者： (医学部) 所属：整形外科 氏名：熊谷 研
研究実施期間： 承認日 ～ 平成 33 年 5 月 31 日
連絡先： 横浜市立大学 医学部 所属：整形外科 氏名：熊谷 研 〒：236-0004 住所：横浜市金沢区福浦 3-9 電話：045-787-2655

情報公開用文書

西暦 2022 年 2 月 21 日作成

研究課題名	プロテオーム解析による骨粗鬆症に関わるタンパク質の網羅的探索
研究の対象	20 歳以上の男女で骨量減少症または骨粗鬆症の患者血清 およびバイオバンク室健常者血清 (2016 年 5 月 12 日～ 2021 年 12 月 31 日の期間内に採取した検体)
バイオバンクから提供する検体	健常者血清 29 本 試料採取日 2017 年 2018 年 2019 年 2020 年の 6～7 月
研究目的・方法	骨粗鬆症は骨折の原因となり、健康寿命を阻害する大きな原因となる。高齢化の加速に伴って骨粗鬆症が増加し、現在 1280 万人の患者が存在する。既に骨粗鬆症と診断された患者のみならず、医療機関を受診しない潜在的な骨粗鬆症患者に対して、簡便なスクリーニング法の確立や的確な治療介入が重要な課題である。本研究では骨粗鬆症に関わるタンパク質を網羅的に探索し、原因の究明、診断技術開発、治療効果判定に寄与することを目的とする。骨粗鬆症および骨量減少の患者を対象に、血液検体を採取し、プロテオーム解析にて発現タンパク質を網羅的に解析する。被験者には通常の保険診療内で骨粗鬆症治療が行われるが、治療に対する反応や骨粗鬆症の重症度に応じて群わけを行い、発現タンパク質との関連をサブ解析する。解析の評価は、比較対照群としてバイオバンク血清を用いて行う。評価は、プロテオーム解析によるタンパク発現を主要評価項目とし、副次評価項目としては骨密度検査、骨代謝マーカーを含む血液生化学検査、X 線検査を実施する。
研究期間	2016 年 5 月 12 日～ 2025 年 5 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	血清 ・ 性別 年代 試料採取年
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢 性別 試料採取日
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 横浜市立大学先端医科学研究センター内 バイオバンク室 電話：045-787-2592 メール：sentanbb@yokohama-cu.ac.jp	